



シリーズ③

大山町家庭学習のすすめ!

名和小学校レポート! 家庭学習の充実に向けて

と。ノートの見開き2ページ以上を使ってまとめる。授業日記・文章問題づくり・自学系(教科系)の問題・課題型自学・探求型自学(継続)などテーマを一貫して取り組む。

名和小学校では、平成21年度から学校独自で作成した家庭学習の手引きを児童と保護者へ配布し、「基礎学力の定着」と「自ら学ぶ習慣づくり」に取り組むよう呼びかけています。

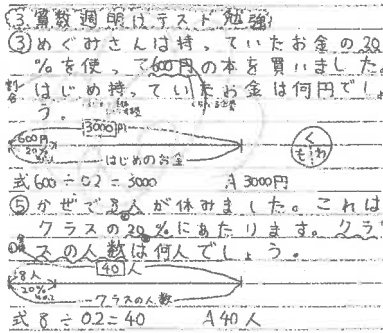
家庭学習のねらいは「進んで学習する習慣をつける」「共通理解したことの実践」「基礎学力の定着」です。

名和小学校の家庭学習の手引きには、次のような項目が書いてあります。

基本コース・どの学年も毎日取り組む学習のこと。生活日記・プリント・音読・漢字練習・計算練習などをする。自学コース・自分から取り組む応用・発展的学習のこと。

家庭学習の手引きでは、学習への意欲をもたせるために「①学習を始める時間がきたらテレビのスイッチを切る。②すぐに取りかかることができるやさしい学習(音読など)から始める。③家庭での励ましと賞賛が必要」ということと、学習に集中させる方法として、「①食べながら、飲みながら学習をさせない。②学習に必要なではない物は、机の周りには置かない。③時間を決めてさせる」というように家庭での進め方について紹介しています。

また、学校の取組として、「①学校では全職員で話し合い、学校全体で統一した考えで指導する。②各担任は、家庭学習のノートやプリントに毎日目を通し、内容や種類によつてチェックの仕方を工夫し、良くできたところや努力したところをほめる」ということも大切にしています。さらに、各家庭へ生活のリズムづくりやテレビ・ゲームの時間を決めることなど、家庭の学習環境づくりについてもお願いをしています。



▲【児童の自学ノートより】

【学年段階を考えた自学の取組】

自学帳へ
・4学年 課題型自学
・5学年 課題型自学
・6学年 課題型自学から探求型自学へ
○教師の手立て
・個々の変容を見取る。
・毎日目を通して評価を入れる。
・基本・応用・発展をバランスよく指導する。
・やり方がわからず困っている児童への対応と家庭との連携を図る。

家庭学習の進め方が分からず、なかなか取り組めなかつたり、取組内容が広がらなかつたりする児童には、本年度から町版「家庭学習の手引き」を参考にさせて、取組内容やノートのまとめ方に見通しをもたせています。また、家庭とも連携して町版「家庭学習の手引き」を参考にし、児童への声かけや学習環境づくりについて協力を求めています。

夏休みには、自学のメニューを一覧表にして、必修メニューや選択メニューを紹介して児童にわたすなど、それぞれの学年で工夫しながら児童にやる気と見通しをもたせて継続的に取り組ませようとしています。

終了した自学ノートを教室に置いて、他の児童が自由にみるができるようにしています。自学ノートの取組への意欲を喚起したり、自分の自学ノートの取組への参考にさせたりしています。教科係(国・社・算・理)を決めて、教科係が作成した問題を解くという取組をしている学年もあります。高学年になると探求型の学習を取り入れて、2ページ以上にまとめる児童が多くなります。

▲【夏休み☆自学スペシャルメニュー】